

科 目 名	非行・犯罪と心理臨床					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	宮 崎 久 生						
開 講 年 次	4	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	先ず非行犯罪の動向を歴史的変遷の中で位置付け、その特質を人格及び環境の両面から考察する。更に改善更生のための治療的、教育的諸方策を体系的に見ていくための基礎的理論を学ぶ。また犯罪非行臨床の諸手続きや技法を幅広く学ぶ。更に被害者の心理からのアプローチや犯罪非行予防対策のあり方についても学習を進める。						
授 業 の 到 達 目 標	1) 複雑多様化する犯罪・非行について犯罪心理学的な臨床の基礎についての知識を得る。 2) 心理臨床の技法についての理解を深める。 3) 多様な犯罪非行の矯正技法についても理解を深める。 4) 犯罪非行の社会的支援のあり方を模索する。 5) 犯罪被害者の支援の現状と課題について学ぶ。 6) 非行・犯罪事例を通して発生機制や更生方法を具体的に理解する。 7) 非行・犯罪の心理臨床に関わる人々への理解を深める。						
学 習 方 法	講義 ビデオ視聴						
テキスト及 び参考書等	テキストは使用しないが、参考書及び資料は適宜提供する。						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標						
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%		
定期試験	◎	○				70	
小テスト等			○			10	
宿題・授業外レポート							
授業態度							
受講者の発表							
授業への参加度			○			20	
その他							
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画 (学習内容・キーワードとスケジュール)							
第 1 週	犯罪非行心理臨床の基礎、展望と課題						
第 2 週	動向と歴史的変遷						
第 3 週	犯罪非行を担う公的機関						
第 4 週	犯罪非行の現代的特質						
第 5 週	犯罪非行者の人格構造						
第 6 週	アセスメント技法						
第 7 週	発生機制と社会環境		家庭				
第 8 週	〃		学校				
第 9 週	〃		地域社会など				
第 10 週	各種犯罪非行事例						
第 11 週	犯罪非行の矯正処遇類型						
第 12 週	犯罪者の矯正処遇						
第 13 週	非行少年の矯正処遇						
第 14 週	犯罪非行の予防対策と被害者対策						
第 15 週	まとめと復習						
第 16 週							
備 考							